

第2 大気中（一般環境）のアスベスト濃度調査

1 目的

大田区における大気中（一般環境）のアスベスト濃度の状況を把握するために、区内3か所において調査を実施した。

2 調査地点

- (1) 大森地域庁舎（大森西一丁目12番1号）
- (2) 雪谷特別出張所（東雪谷三丁目6番2号）
- (3) 萩中公園水泳場（萩中三丁目26番46号）

3 調査日及び天候

令和5年12月18日(月)：晴、19日(火)：曇り、20日(水)：晴

4 調査方法

「アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版）」（令和4年3月 環境省）に従い、一般環境におけるアスベストの測定を行った。

5 調査結果

(1) 令和5年度

測定結果を表1に示す。総繊維数濃度は全ての地点で、1本/L以下であった。

表1 アスベスト測定結果一覧表

調査地点	令和5年度 試料採取月日・時間	位相差顕微鏡法			
		視野数	本数	総繊維数濃度	
				本/L	幾何平均
大森地域庁舎	12月18日 10時50分～14時50分	151	12	0.45	0.41
	12月19日 10時40分～14時40分	151	16	0.60	
	12月20日 10時40分～14時40分	151	7	0.26	
雪谷特別出張所	12月18日 11時30分～15時30分	151	10	0.37	0.33
	12月19日 11時15分～15時15分	151	6	0.22	
	12月20日 11時15分～15時15分	151	13	0.48	
萩中公園水泳場	12月18日 10時00分～14時00分	151	13	0.48	0.53
	12月19日 10時00分～14時00分	151	21	0.78	
	12月20日 10時00分～14時00分	151	11	0.41	

条件：吸引量 10 L/min×240 min

検出下限値：0.0099 本/L フィルターブランク値を引いた値。

(2) 経年変化

過去6年間の調査結果の経年変化は、表2のとおりである。一般環境で採取した試料を令和4年度までは電子顕微鏡法によって、令和5年度は位相差顕微鏡法によって分析をした。そのため、令和5年度は総繊維数濃度を掲載している。

表2 大気中（一般環境）のアスベスト濃度 経年変化

調査地点	アスベスト繊維数濃度					総繊維数濃度
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大森 地域庁舎	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.41 本/L
雪谷 特別出張所	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.33 本/L
萩中公園 水泳場	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.037 本/L 未満	0.53 本/L

各地点とも令和2年度までは屋上、令和3年度からは地上で実施。

<基準の目安>

大気中のアスベスト濃度の環境基準は定められていない。ただし、大気汚染防止法で特定粉じん(アスベスト)発生施設等の敷地境界の濃度基準は10 本/L 以下と定められている。

6 まとめ

平成19年度の調査開始以降、大気中アスベスト濃度（総繊維数濃度含む）は全て1 本/L 以下であった。法令においてアスベストの飛散防止対策が取られていることから、本調査は令和5年度までとした。